

校長室だより

# 中 緑 鷹

第 39 号

令和8年2月18日 (水)

〔発行者〕 三苫 淳一

スローガン：○凡事徹底で生活の基礎固め～基本的生活習慣のレベルアップ

○全力燃焼～過程（プロセス）重視

2月17日（火）9年生が調理実習で「梅が枝餅」づくりに挑戦しました。毎年この時期に行われる「学校運営協議会」に合わせて実習をおこない、日ごろお世話になっている地域の委員さんへ、「梅が枝餅」と「感謝の手紙」を渡すことが9年生の恒例行事になっています。学習サポーターとして、読み聞かせでお世話になっている松原さん、矢羽田さんが手伝ってくださいました。このお二人にも感謝の手紙を渡しました。



## 吉野 可純さんの感想

班で協力しながら先を見越して皿洗いや片付けなどができました。上原さんがたくさんお皿洗いをしてくれて助かりました。渡した方にも喜んでもらえてうれしかったです。

## 足立 礼夢くんの感想

先生に教わりながら、こねたり包んだりすることができました。良く焼くことができましたが、油を入れすぎてしまいました。

## 福井 希彩さんの感想

班で分担しながら作れました。焼き色がつくように時間をかけて焼いたので美味しくできました。とっても楽しかったです。

入口に並んだ瞬間から「感謝の気持ち」が溢れ伝わってきて、いい学年だなあと思いました。授業参観で作っている姿も見ていたし、メッセージももらい、とても感動しています。中学校を卒業しても頑張って欲しいと思います。いつまでも応援しています。

（学校運営協議会委員 川津省二さんからのコメント）



2月17日（火）第2回学力向上会議・第4回学校運営協議会をランチルームで行いました。

＜第2回学力向上会議＞・授業参観・12月実施の日田市学力調査の結果についての説明・質疑、意見交換

### 質疑、意見交換で出されたもの

- 授業の展開が教科の愛好度につながっていると思う
- 活動もなく、話し合いもない一方的な授業では理解は深まらないと思う
- 「分かった？」とは聞くけど、分かったことを前提で授業を進めるのは理解不足を加速させるのではないか
- 生徒の自己評価による理解度と実際の理解にはかなり乖離があるのではないか
- 家庭学習目標時間は教科ごとの時間配分や内容は生徒の判断によるものか

＜第4回学校運営協議会＞

- ・2学期と3学期の学校評価4点セットの説明
- ・2学期末アンケート結果
- ・プロジェクトチームごとの活動の総括と来年度に向けて



プロジェクトチームでの協議後の報告で、『心チーム』から「中学生の地域貢献活動が少しずつ根付いており、地域としても助かっている」との意見をもらいました。

生命の源である「水」を主題に、「生命」「環境」の大切さを理解し、自助、共助の精神で行動できる子どもの育成を目指して創設された「地球さんご賞」水郷ひた作文コンクールに全校で応募し、598点の中から入選5名、優秀賞5名が大山中学校から選ばれ、14日（土）大山町文化センターで表彰式が行われました。